

令和3年(2021年)1月21日 建設部建築住宅課建築企画係  
 (課長) 小林 弘幸 (担当) 三宅 隆徳  
 電話: 026-235-7339 (直通) 026-232-0111 (内線 3650)  
 F A X : 026-235-7479 E-mail: kenchiku@pref.nagano.lg.jp

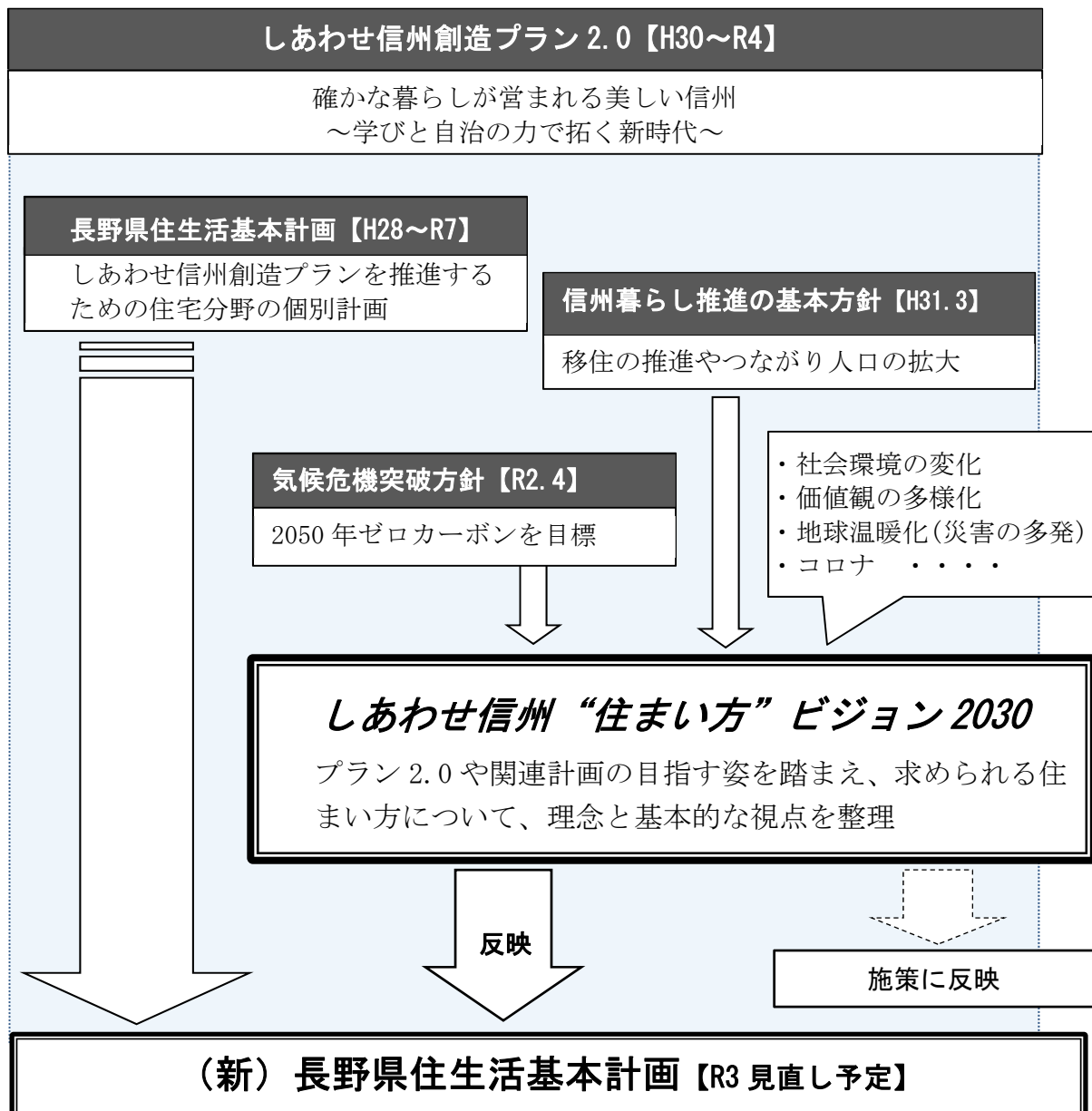
## しあわせ信州 “住まい方” ビジョン 2030 について

### ビジョンの位置付け

令和3年度予定の次期長野県住生活基本計画の策定に先立ち、「しあわせ信州創造プラン 2.0」や関連計画の目指す姿を踏まえ、求められる住まい方について、理念と基本的な視点について整理する。

### 検討の経過

- 信州の多様な住まい方検討専門委員会 …… 6回開催(R1.6～R2.10)
- 県民ワークショップ …… 2回開催(R1.8、R1.9)
- 信州の「住まい方」コンクール …… R1.7～R1.8
- 県政モニターアンケート …… R1.8～R1.9



豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差したこれからの時代にふさわしい「信州の多様な住まい方」とは

## 住まいを取巻く環境の変化（3つの変化）

- **社会環境の変化**
  - ・人口減少、少子高齢化の進展
  - ・空き家、空き地の増加と都市のスポンジ化
  - ・家族のあり様の変化
- **自然環境の変化**
  - ・地球温暖化に起因する災害が頻発
- **価値観の多様化**
  - ・ライフスタイルの多様化
  - ・都市と田舎の関係性の変化
  - ・アフターコロナ

右肩上がりの経済成長や人口構造を前提とした旧来型の社会システムは、もはや通用しなくなりつつあります

環境の変化に対応した  
これからの時代にふさわしい  
住まい方とは・・・

豊かさ、しあわせを感じられる「住まい方」を実現

## 育まれた資源を次世代に住み継ぎ 持続可能な地域共生社会を実現！！

### 豊かさ・しあわせの パラダイムシフト

お金だけではなく、  
“しあわせ”の再定義

### ひろく・つながる

人や地域とのつながりが幸せ

地域や社会に必要とされている幸せ

これからの「住まい方」を  
考える上での  
**<5つの視点>**

### 居心地・心地よさ

性能だけでは語れない  
暮らしの心地よさ

五感で感じる心地よさ

居心地のいい信州

### 住みこなす

多様な暮らし方を受け  
容れる住まいの多様性

### 信州らしさ (信州の強み)

この信州でこそ実現  
できる暮らしがある

## 信州らしさ（魅力・特色）

他県に誇れる「信州の強み」を最大限に活かします

移住したい県

15年連続No.1 ©宝島社

#### ■ 恵まれた立地条件

- ・豊かな自然や美しい景観
- ・大都市圏からのアクセスの良さ
- ・まちと自然のちょうどよい距離感

#### ■ 受け容れ力（寛容さ）

- ・コミュニティの心地よさ
- ・人とのつながり、人の好き
- ・おすそわけ、結、お互いさまの文化
- ・学びの風土と自主自立の県民性

#### ■ 営まれてきた豊かな暮らし

- ・多様な個性を持つ地域
- ・地域に息づく歴史や生活文化
- ・恵まれた環境資源・森林資源
- ・男女とも健康長寿日本一

## これからの信州に求められる 豊かさ、しあわせを感じられる「住まい方」（3つの提案）

### I 環境や健康にやさしく安全な住まい【住まいの姿】

健康・エコで居心地のいい持続可能な住まいで暮らします

- ・信州の環境に抱かれ心地よさを五感で感じる住まい
- ・ゼロカーボンと健康長寿に資する住まい（信州版ゼロエネルギー住宅）
- ・地消地産による持続可能な地域内循環に寄与する住まい
- ・災害ハザードエリアからの回避と強靱な備えの住まい

### II 多様な変化やニーズに対応した住まいの選択【住みこなす】

ライフスタイルやライフステージに応じて柔軟に住みこなします

- ・家族の変化やニーズに応じた住み替え等で生活がより豊かに
- ・住まいが、住むだけでなく、働く、学ぶなど多様な機能を発揮
- ・都市の利便性と自然の豊かさを享受するハイブリッドな生活を実現（二地域居住、リゾートテレワーク等）
- ・多様な世帯が地域で共生できる住まいの多様性（シェアハウス等）

### III 地域や社会にひらかれつながり ささえあう暮らし【コミュニティ】

多くの居場所があり、人や地域との交流で、豊かに暮らします

- ・地縁、血縁のほか、価値観でつながる新しいコミュニティ
- ・自宅と仕事場以外の自分の居場所を確保
- ・適度に地域にひらかれた住まいで、ゆるやかに近隣とつながる暮らし
- ・コミュニティハブや情報で地域とつながる地域社会
- ・家族機能を補完し希望に溢れた共生社会
- ・機能が集約された、多世代に優しい生活拠点（コンパクトシティ）

## 役割分担

### 県

#### ■ 情報発信

- ・多様なニーズを受け容れる  
住まい方の情報発信  
(実践事例・支援策等)

#### ■ ビジョン実現の環境整備

- ・信州らしい住まいの指針作成
- ・住みこなすの普及啓発と推進
- ・人や地域との交流機会の創出

### 事業者

#### ■ 県民への提案

- ・ビジョンを具現化する  
住まい・住まい方を提案

#### ■ 多分野連携による推進

- ・住宅建設事業者のみならず、  
様々な分野の事業者が連携・  
協調して推進

### 県民 移住者

#### ■ 信州らしい住まい方の実践

- ・次世代につなぐ信州の魅力の維持向上
- ・ライフスタイルやライフステージに  
応じて自分らしい住まい方を実践
- ・受け容れ力の発揮